



NPO法人
学校安全全国ネットワーク主催

<オンライン公開学習会>

コロナ禍の中、あの「学校一斉休業」要請は適切だったのだろうか

今年2月27日に、安倍首相（当時）は、突然、全国の小中高校等を3月2日から春休みまで休業するよう要請すると表明しました。あわてた文科省は、翌日、首相要請を受けての依頼であることを明記して、全国教育委員会に対して小中高校等の一斉休業要請の通知を出しました。

わずか一週間たらずで、いきなり学校が休校になるということで親、保護者は、職場との調整もできないまま、子どものために家にとどまらざるをえず、各教育委員会も年度末の学校行事を中止したりおおわらわの状態となりました。

確かに当時から新型コロナ問題は深刻化していましたから、子どもの安全最優先はわかります。しかしその美名のもとで、果たして、いきなりの首相要請で教育界を混乱させることがあってよかったのでしょうか。コロナ問題を視点において、子どもの安全と学校の休業措置の手続き、判断主体のあり方—今後も第3波、第4波がありえるなかで—などを検討しておきたいと思います。

記

- 1 日時 2020年11月29日(日) 14:00～17:00
- 2 会場 オンライン
- 3 講演テーマ
「コロナ禍の中、あの学校一斉休業要請は適切だったのだろうか」
[講師] 村元 宏行さん
(活水女子大学 准教授)

- 4 参加費 <一般>1,000円
<会員>無料
- 5 申込方法
[peatix] <https://online-gakushukai-2020.peatix.com>
- 6 連絡先

NPO法人学校安全全国ネットワーク

住所：東京都千代田区富士見2丁目7番2号

ステージビル1706号 南北法律事務所内

TEL：03-3511-5070 FAX：03-3511-5784

HP：<https://gakouanzen-network.com>

Mail：uta@yoko-no-heya.jp

